

1. 科目名（単位 数）	音楽Ⅱ（幼）（2単位）	3. 科目番号	SJMP2140															
2. 授業担当教員	原 久美子																	
4. 授業形態	演習、講義、実技	5. 開講学期	春期															
6. 履修条件・ 他科目との関係	音楽（幼）を終えていること。																	
7. 講義概要	「音楽Ⅱ」では主に保育現場で行われているリズム活動に対応できるリズム感とそれを身体表現できる力の育成、子どもの楽器活動に関する理解、手遊びの習得を目指す。保育現場で行われるリズム活動では、身体を使って音楽を感じ取り表現するので、活動にふさわしい楽曲の演奏や動きに合わせ即興的に演奏する方法を身につけなければならない。また、わらべうたが培う子どもの力を理解し、わらべうたを歌い遊べるようにする。さらに主にリズム楽器の正しい奏法、扱いに習熟し、子どもの歌や楽曲を楽器で楽しむ方法を学ぶ。 1 年次に培った弾き歌いの演奏技術を継続的に磨き、手遊び歌のレパートリーも増やす。手遊び歌はわらべうた同様、アカペラで歌うものなので、正しい音程で歌えるソルフェージュ力をつける。																	
8. 学習目標	1. リズム活動のためのピアノ演奏ができる。自身も音楽に合わせリズムカルに動ける。 2. 保育活動で使われる楽器に関する正しい知識を持つ。楽器遊びや合奏にアレンジできる。 3. 手遊び歌、わらべうたのレパートリーを増やし、正しく歌い遊ぶことができる。 4. 弾き歌いの演奏技術を高める。																	
9. アサイメント （宿題）及びレポ ート課題	1. 毎回楽典の練習問題とピアノの練習課題等を提示する。疑問点は必ず聞きに来ること。 2. ピアノ演奏、弾き歌い、手遊び歌、合奏等の発表を実施する。																	
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】 ・「音楽（幼）」や「音楽実践演習」で使用した教科書を継続使用する。初回授業時に忘れずに持参すること。その他、必要に応じてプリントを配布する。 【教材】※各自で必ず購入しておくこと。 ・ヘッドフォン ・6.3mmステレオジャック（先端が3.5mmジャックの場合、ステレオ変換ジャックが必要）																	
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. リズム活動のためのピアノ演奏ができ、自身も音楽に合わせリズムカルに動けるか。 2. 保育活動で使われる楽器に関する正しい知識を持ち、楽器遊びや合奏にアレンジできるか。 3. 手遊び歌、わらべうたを正しく歌い遊ぶことができるか。 4. 弾き歌いの演奏技術を高められたか。 ○評定の方法 以下の点を総合して評価する。 <table><tr><td>1</td><td>リズム活動のためのピアノ演奏と動きの発表</td><td>総合点の20%</td></tr><tr><td>2</td><td>保育活動で使われる楽器を使った楽器遊びや合奏の発表</td><td>総合点の20%</td></tr><tr><td>3</td><td>手遊び歌、わらべうたの発表</td><td>総合点の20%</td></tr><tr><td>4</td><td>弾き歌いの発表</td><td>総合点の20%</td></tr><tr><td>5</td><td>授業への取り組み（学習意欲・学習態度など）</td><td>総合点の20%</td></tr></table> 上記のほか、本学規定に定められている3／4以上の出席を単位認定の条件としている。			1	リズム活動のためのピアノ演奏と動きの発表	総合点の20%	2	保育活動で使われる楽器を使った楽器遊びや合奏の発表	総合点の20%	3	手遊び歌、わらべうたの発表	総合点の20%	4	弾き歌いの発表	総合点の20%	5	授業への取り組み（学習意欲・学習態度など）	総合点の20%
1	リズム活動のためのピアノ演奏と動きの発表	総合点の20%																
2	保育活動で使われる楽器を使った楽器遊びや合奏の発表	総合点の20%																
3	手遊び歌、わらべうたの発表	総合点の20%																
4	弾き歌いの発表	総合点の20%																
5	授業への取り組み（学習意欲・学習態度など）	総合点の20%																
12. 受講生への メッセージ	子ども達に音楽の魅力を伝えるためには、演奏技術に加え保育者自らが音楽を楽しむという姿勢が大切です。ピアノ演奏に関しても歌唱に関しても、出来るだけ多くの曲を学びましょう。様々な様式のレパートリーを作ることが技術面でも音楽的な面でも上達に繋がっていきます。豊かな音楽表現を目指し、積極的に授業へ取り組まれることを期待しています。																	
13. オフィスアワー	初回授業時に周知させる。																	
14. 授業展開及び授業内容																		
講義日程	授業内容	学習課題																
第1回	ピアノ演奏および課題説明 コードネーム①（メジャーコード）	事前学習	音楽（幼）で学んだことを復習しておくこと。															
		事後学習	課題曲の練習を始めること。メジャーコードについて復習しておくこと。															
第2回	ピアノ演奏および弾き歌いレッスン① コードネーム②（マイナーコード） 手遊び歌、わらべ歌①	事前学習	課題曲を弾けるよう練習しておくこと。															
		事後学習	課題曲の復習をしておくこと。マイナーコードについて復習しておくこと。 手遊び歌の復習をしておくこと。															
第3回	ピアノ演奏および弾き歌いレッスン② コードネーム③（dimおよびaug） 手遊び歌、わらべ歌②	事前学習	課題曲を弾けるよう練習しておくこと。															
		事後学習	課題曲の復習をしておくこと。コードネーム（dimおよびaug）の復習をしておくこと。 手遊び歌の復習をしておくこと。															
第4回	ピアノ演奏および弾き歌いレッスン③ コードネーム④（7thコード、sus4） 手遊び歌、わらべ歌③	事前学習	課題曲を弾けるよう練習しておくこと。															
		事後学習	課題曲の復習をしておくこと。コードネーム（7thコード、sus4）の復習をしておくこと。 手遊び歌の復習をしておくこと。															
第5回	ピアノ演奏および弾き歌いレッスン④	事前学習	課題曲を弾けるよう練習しておくこと。															

	コードネーム⑤（コードの転回形） 手遊び歌、わらべ歌④		手遊び歌の復習をしておくこと。
		事後学習	課題曲の復習をしておくこと。コードネーム（コードの転回形）の復習をしておくこと。
第6回	ピアノ演奏および弾き歌いレッスン⑤ コードネームを用いた簡易伴奏①（年少の曲から選曲） 手遊び歌、わらべ歌⑤	事前学習	課題曲を弾けるよう練習しておくこと。
		事後学習	作成した簡易伴奏を弾けるようにすること。 手遊び歌の復習をしておくこと。
第7回	ピアノ演奏および弾き歌いレッスン⑥ コードネームを用いた簡易伴奏②（年中の曲から選曲） 手遊び歌、わらべ歌⑥	事前学習	課題曲を弾けるよう練習しておくこと。
		事後学習	作成した簡易伴奏を弾けるようにすること。 手遊び歌の復習をしておくこと。
第8回	ピアノ演奏および弾き歌いレッスン⑦ コードネームを用いた簡易伴奏③（年長の曲から選曲） 手遊び歌、わらべ歌の発表	事前学習	課題曲を弾けるよう練習しておくこと。
		事後学習	作成した簡易伴奏を弾けるようにすること。
第9回	ピアノ演奏および弾き歌いレッスン⑧ リズムによる身体表現①	事前学習	課題曲を弾けるよう練習しておくこと。
		事後学習	課題曲の復習をしておくこと。リズムによる身体表現の復習をしておくこと。
第10回	ピアノ演奏および弾き歌いレッスン⑨ リズムによる身体表現②	事前学習	課題曲を弾けるよう練習しておくこと。
		事後学習	課題曲の復習をしておくこと。リズムによる身体表現の復習をしておくこと。
第11回	ピアノ演奏および弾き歌いレッスン⑩ リズムによる身体表現③	事前学習	課題曲を弾けるよう練習しておくこと。
		事後学習	課題曲の復習をしておくこと。リズムによる身体表現の復習をしておくこと。
第12回	ピアノ演奏および弾き歌いレッスン⑪ 簡易楽器による合奏①	事前学習	課題曲を弾けるよう練習しておくこと。
		事後学習	課題曲の復習をしておくこと。簡易楽器の取り り扱いと奏法について復習しておくこと。
第13回	ピアノ演奏および弾き歌いレッスン⑫ 簡易楽器による合奏②	事前学習	課題曲を弾けるよう練習しておくこと。
		事後学習	課題曲の復習をしておくこと。簡易楽器による 合奏の復習をしておくこと。
第14回	ピアノ演奏および弾き歌いレッスン⑬ 簡易楽器合奏の発表	事前学習	課題曲を弾けるよう練習しておくこと。
		事後学習	課題曲の復習をしておくこと。
第15回	弾き歌い発表およびまとめ	事前学習	弾き歌いは発表の準備をしておくこと。
		事後学習	授業において学んだことを総復習すること。